



# ENAGIC GLOBAL E-FRIENDS

Vol  
216 Japan Edition  
2018 11月号



感謝の気持ちを大切にして  
世界の人々の人生を変えよう！



Distributor Profile 表紙の人：

**Daijiro Sakita** (6A3/ブラジル)

# 私たちは世界中の人々の人生を変える ミッションで重要な役割を担っている！

感謝は人にとって最も美しい心の持ち方です……。

私はいつもこれを実感しています。私は太平洋戦争中の食べ物にも困っていた幼い頃から現在まで、ずっと恵まれていると感じてきました。私の経験では、感謝する姿勢こそが価値ある充実した人生をもたらしてくれます。

人生において、悪い部分を見ればキリがありません。何もせずに不満を言い、誰かのせいにしたり、自分を哀れんだりする人もいます。だからこそ、感謝の気持ちを持って他人の良い部分に目を向け、明るい未来を望むことは勇気のいることです。

エナジックは素晴らしい機会に恵まれています。「真の健康」のアンバサダー(大使)として、私たちは人々をワクワクさせ彼らの人生を好転させる役割を担っています。人生を変えるミッション！なんと意義深い使命でしょう！ 改めて、意識してみてください。『ワオ～！私は、私の人生だけでなく世界中の人々の人生を変えるミッションで重要な役割を担っているんだ！』

感謝祭の季節を迎えました。感謝の思いと姿勢を持って過ごすのにふさわしい時期です。私たちは、人々の人生を変える力があります。私たちは真実のともし火の扱い手です。その真実とは、『水を変えることで人生を変えることができる！』ということです。

感謝の気持ちを大切にして、世界中の人々の人生を変えていきましょう。私は皆さんと共に、このミッションを担っていることを誇りに思います。感謝の思いを深めましょう。いまこそ人生を変える時です！

すべての恵みに感謝して！

(株)エナジックインターナショナル  
CEO 大城 博成



# 新しいリーダーの元 もっともっとワクワクしよう！

ダン新社長就任と有馬グローバル営業本部長就任を披露！



参加者を鼓舞したダン新社長

10月13日午後、プラザ東京で、エナジックジャパンのダン・プロッサー(Don Prosser)新社長就任と、有馬裕一グローバル営業本部長就任の披露イベントが開催され、百数十人の販売店が詰めかけました。その4分の1ほどが、最近活躍が目立つ在日フィリピン人で占められ、そのほかロシア、インド、ベトナムなどの販売店も参加し、国際色豊かな催しとなりました。

大城博成会長は、欧米の事情によく通じているダン社長には、外から見ていた日本を中心再興していく期待がかけられていますと語りました。有馬本部長に対しては、エナジックの世界化を

推進してほしいという期待感を表明しまし



「ワクワクしよう！」と語りかける大城会長



力強いあいさつをする有力販売店の（左から）中村明俊さん、瀬戸光雄さん、石井恵子さん



締めのあいさつをおこなう  
北岸逞男アジアグローバル本部長



昇格を認定された新6AのCabuyadao Crescenciaさん(左)と



新6A2のGertrudes Kobayashiさん



ウコン茶が当たるジャンケン大会で盛り上がる！

意気軒高的石井グループの皆さん





Malaysia

# GLOBAL REPORT

グローバルリポート

マレーシアでE8PAグローバルコンベンションを開催！



大城会長夫妻を囲む有力販売店



スピーチをおこなう大城博成会長と八重子常務

11月2日、マレーシアの首都クアラルンプールのサンウエイ・ピラミッドコンベンションセンターで、2018E8PAグローバルコンベンションが開催され、各国の販売店が多数参加しました。登録受付後、午前10時からは世界の6A2-4(以上)販売店が結集してミーティングがおこなわれ、真剣な議論が交わされました。

ランチタイム後には大城博成会長によるCEOセミナーが実施され、大城会長は開催地マレーシアの発展ぶりを称えると共に、

「世界には“水を変えれば人生が変わる”という情けの報せを伝えるべき地域がまだまだたくさん残っています。皆さん、いっそう頑張りましょう！」と呼びかけました。

その後、世界のトップ販売店によるセミナーが続き、終了後のディナータイムでは、グローバルコンベンションのハイライトと言える「新6A(以上)認定&表彰式」が挙行されて、会場は大変盛り上りました。



参加者の意欲を大いに高めたセミナー



インセンティブを受け取り喜ぶ販売店とその仲間たち



Brazil

## 大城会長ファミリー ブラジルを訪問！

10月下旬、大城会長夫妻と博樹常務がブラジルを訪れ、サンパウロ州ソロカバ市のエナジックブラジル支店や、同州サンパウロ市の沖縄県人会などを訪問しました。20日にはCEO講演会がおこ

なわれ、多くの販売店とゲストが参加して大城会長が語るエナジックスピリットに熱心に耳を傾けました。県人会では幹部スタッフが揃って大城会長ファミリーを熱烈歓迎しました。



ブラジルで大歓迎された大城会長ファミリー



Germany

## 磯部本部長がドイツでトレーニングを実施！

10月11日から14日まで、ドイツ・デュッセルドルフで、磯部勝正グローバルトレーニング本部長がトレーナー養成のためのトレーニングをおこないました。4日間に及ぶ密度の濃いトレーニングに、参加者は一生懸命に取り組んでいました。

### エナジック・トレーニングニュース



密度の濃いトレーニングを実施(中央左が磯部本部長)

## エナジック硬式野球部がRBC杯でみごと優勝！



沖縄県で10月20日から27日までの間、社会人とクラブ、大学の8チームが争う「第26回RBC(琉球放送)杯争奪硬式野球大会」がおこなわれ、エナジック硬式野球部がみごと優勝を遂げました。今シーズン最後の公式戦で優勝という結果を残し、来シーズンへの期待感が高まっています。



## エナジック所属の嘉数プロが日本オープンで3位に！

バット向上 成長実感

嘉数 健闘の3位

ゴルフ日本一の稲森ツアー初V

トータル-8アンダーで3位に入った嘉数プロ

嘉数プロの活躍を大きく報じた  
『琉球新報』(10月15日付)

エナジック所属の嘉数光倫プロが、10月11日から14日まで神奈川県横浜市で開催された日本ゴルフ界最高峰のメジャー大会「第83回日本オープンゴルフ選手権」に出場し、並み居る強豪に伍してみごと3位に入りました。

嘉数プロは賞金1,270万円を獲得。今季通算賞金額を1,438万5,000円とし、賞金ランキングは一気に50位にアップしました。来年はさらに飛躍のシーズンとなりそうです。

## ゴルフアカデミーの生徒が沖縄女子ゴルフ大会で大活躍！

島袋 侮しい3位  
バット修正 後半粘り

佐渡山 2位 成長を実感

アカデミーの生徒の活躍を伝える  
『沖縄タイムス』(10月26日付)

にしほら  
10月24日と25日に沖縄県西原町で開催された「第40回沖縄女子ゴルフ選手権大会」に、エナジックゴルフアカデミーで学ぶ20人が参加。佐渡山理莉が2位、島袋ひのは3位、喜久山紗弥が4位に付けるなど、ベスト10に7人も入って上位を独占しました。さらに出場選手(131人)中、生徒20人全員が45位以内に入り、エナジックゴルフアカデミーの生徒と教育水準の高さが示されました。

# 沖縄から世界へ サクセスストーリー 大城博成

第35回

## 「情けは人のためならず」を日々、実践!

大城には島国コンプレックスの人間のようなコセコセしたところは毛頭ない。むしろ、海洋的で広大な大海原に潛ぎ出すような冒険心がある。だから少々の失敗、損失には目もくれない。この感覚の違いが原因でスタッフと衝突することもある。スタッフは千、万単位の感覚で判断する。しかし大城は億単位の発想だ。成功者や大物はこの類の性格を持っている。要するに些細なことに気をとられ、エネルギーを費やすよりも、大きな計画を描いてそこにエネルギーをかけることだ。

こんな逸話がある。太閤秀吉は丹頂鶴を愛したそうだ。趣味と同時に愛玩動物を持つことは緊張感を和らげる役目も果たす。この太閤の鶴の世話をしていた家来が間違って鶴を逃がしてしまったのである。家来は秀吉に土下座して詫び、処罰を覚悟した。ところが秀吉は彼の失敗に、「ウワッハッハ」と笑って「心配することはない、日本中が俺のものだ」と応えたという。

秀吉にしてみれば、鶴は彼の屋敷の裏庭に逃げたようなものだったのであろう。日本中を自分の物と考えられない人には秀吉の気持ちとは通じない。大城も3回も4回も失敗して辞めていった以前のスタッフを迎える大きな心の人だ。しかし、彼のすることが全て成功につながったわけではなく、裏目に出ることもある。

### 大城の優れた動物的嗅覚

人の嗅覚は犬の嗅覚とは比較にならないほど低い。象の嗅覚は犬のそれよりもパワフルだそうだ。あの長い鼻先は食べられる草と食べられない草を嗅ぎわけ、あの丸太のような足の裏には感覚装置があり、動物が歩いた後の地面の揺れを感じるそうだ。さらに象は40km先の落雷を察知するといわれる。大城は動物的な嗅覚を身につけている。全く準備なしに始めたミーティングで組織の改革、人材の配置、プロモーション等の企画をポンポン即座にテーブルに出すのは、経験からというよりも、彼の優れた経営の嗅覚のような気がする。

インスタントで予期せぬ発想であるから、全てがうまくいくわけではない。500~1200人を迎えての大きな販売店のセミナーでも1時間余りメッセージを送るが、原稿なしだ。あるいは即席で臨機応変にテーマを変更してやり抜いていく。大城は聴衆の反応を嗅ぎ分けながら話を進めている。彼の経営、管理の領域にもこの本能的な嗅覚の働きの効果があるといえる。

### 情けをかけた男がミリオネアーに！

大城は、口は辛いが人情にあふれている。情け心は母親から得と教えられたようである。ある新米の女性販売店が大城を空港に迎えに来てくれて、車中で話が弾んだ。彼女が経済的に困っていると察した大城は何がしかのおお礼をした。それはかなりの額の謝礼であったとか。彼女は人一倍営業を頑張り、現在のワシントン州の支店開設の基礎を作り上げた。

あるフィリピン系の男性が販売店になった。かつて、日本の某MLM社で勤めたことがあったという。しかし、財政的には破綻寸前であった。還元率の器械を売り始めたが、なかなか軌道に乗らない。販促品の代金として支払った20ドルの小切手が不払い戻ってくる始末だ。大城は彼の経済危機を察して、情け心から毎月2,000ドルを3ヶ月間支払う約束で彼を助けた。彼はニュージャージー州で事務所を借り、イースト・コーストの営業に力を入れた。今日、この販売店はエナジックのトップ・クラスの一人となり、大きな貢献をしている。かつて20ドルをバウンスした男が、いまやミリオネヤーの一人だ。人助けは自分を助けることに通じるのである。これこそ「情けの和」の広まりであろう。



【前原利夫・著  
『小さな島から世界を飲む!』より】

# はっちの 「電解水のある生活」



## インフルエンザ対策は何といっても強電解水で！

いよいよ真冬の季節がすぐそこにまで来ています。それはまたインフルエンザの流行する季節でもあります。

この時期、「早めの対策を」なんていう役所の呼びかけや広告類をよく見かけますし、感染が広がり始めると、マスコミがいっせいに取り上げて注意を喚起します。それを見て「やっぱり予防注射をうっておいたほうがいいのかな?」などと考え込んでしまう人も多いのではありませんか？ 実は私もそんな人間の一人なんですが…。

いずれにしても最高の対策は、「インフルエンザに絶対罹らないこと」ですね。そのための最優先事項は何といっても「予防」です。

### ■強還元水で15秒間の手洗いを

その予防の基本はやっぱり「手洗い」と「うがい」でしょう。そのためには強電解水を大いに活用しましょう。

まず強還元水で最低でも15秒間、手のひら、手の甲、指先、ツメの間をていねいにこります。それから親指を中心に指の間を洗い、最後に手首の回りもしっかり洗います。

「面倒だな」と思う人もいるかもしれません、我慢してやり続けていると、「習慣」になって全く苦にならなくなりますよ。

### ■強酸性電解水の手洗いも有効

次に強酸性電解水を流しながら強還元水と同じ手順で手洗いをします。これにより除菌効果が望めますよね。最後にペーパータオルなどでふき取って終了です。

さらに、帰宅後の洗顔もおこなっておくと、よいそうです。酸性電解水を使えば、アストリントゼント効果も望めますね。

また、手洗いは帰宅直後にかぎらず、家にいてもこまめにすることが望ましいのです。

### ■うがいも強酸性電解水で

うがいもたいへん効果的なインフルエンザの予防策です。帰宅したらすぐに強酸性電解水でノドの奥まで念入りに、ガラガラさせましょうね。

この、強電解水を使った基本中の基本の「手洗い」と「うがい」を、毎日徹底しておこなえば、家族揃ってインフルエンザには無縁のまま冬を過ごせることでしょう。



東京都千代田区

## 肉料理 喜七屋



住所: 東京都千代田区鍛冶町1-3-2 石井ビル  
 電話: 03-5207-2380  
 営業時間: 夜間: 午後5時~11時30分  
 ランチタイム: 午前11時30分~午後2時

## 還元水使用で自慢の肉料理がいっそう美味に!



“還元水効果”を喜ぶオーナーの橋本拓弥さん

JR神田駅南口から徒歩3分の交通至便な場所にある喜七屋は、豚肉を中心とした肉料理店である。オーナーの橋本拓弥さんは、もともとお笑い芸人志望だった。そこで2000年に故郷の三重県尾鷲市から上京し、都内の芸人養成所に入った。翌年、コンビを組んでデビュー。以来、相方を変えながらも頑張ったが、思ったようには売れてこない。収入が上がらず生活のため、飲食店を中心にアルバイトが必要となった。中でも、カウンター席がメインの焼き肉店でのバイト経験は長かった。

それが、やはり肉料理をウリにする喜七屋の開店につながったのだ。ビルの1階と2階を占める喜七屋だが、1階部分が立ち飲みカウンター形式なのも、過去の経験が生きているからかもしれない。

このほかにも、渋谷区恵比寿の同じビルの6階と7階で異なる店名のスナックを経営しているのだから、もはや芸人志望は消え去ったのか、というと、さにあらず。映画や演劇に出演したり、ユーチューブに画像を投稿したりと、相変わらず「芸能」に関わり続けているのだ。

開店は昨年の10月。レベラックは今年6月に導入した。キッカケは父親の病気だった。その改善を願い、福島県西白河郡中島村の温浴施設「健回路Tera」で療養したこと、オーナーの豊田委佐次さん(6A)と知り合い、レベラックを勧められたという。

JR神田駅南口から徒歩3分の交通至便な場所にある喜七屋は、豚肉を中心とした肉料理店である。オーナーの橋本拓弥さんは、もともとお笑い芸人志望だった。そこで

レベラックを使いだしてから感じたことを聞くと、最初に「還元水で肉を洗ってから調理するとおいしくなった」とことを挙げた。「お客様の反応が良くなつたんです」と、橋本さんは喜んでいる。煮込み、串焼き、刺身など、肉料理はバラエティに富んでいるが、いずれにも還元水効果が出ているというのだ。

このほか、ダシ取り、炊飯、野菜の洗浄など調理全般に還元水を活用。アルコールを割る水やチェイサーにも、もちろん使っている。酸性電解水は冷蔵庫や包丁・まな板等の衛生管理に活用中だ。

店は夜間だけでなくランチタイムにも営業し、各種定食や特製の「喜七屋カレー」などを提供している。30代~50代の男性を中心に、最近では女性客も増えているという。喜七屋は、還元水活

用でうまい肉料理を味わえる嬉しい店である。



2階にはテーブル席(6卓)を用意



カウンター席だけの1階店内

If you know of any unique use for electrolyzed water, we'd love to hear from you! 電解水のユニークな活用法を募集中!

●Please send information to the Public Relations Department.

情報は広報室まで / e-mail:kouhou@enagic.co.jp



新コンプライアンスシリーズ

# わたしたちの法令順守宣言！

流通ジャーナリスト

おお ぐり  
大栗 準

No.17

## ネットワークビジネスとねずみ講は全く違う！

皆さんの中には、ビジネスを進めていく中で「それってねずみ講じゃないの？」と言われた人はありませんか。

連鎖販売取引（ネットワークビジネス／以下NBと略）の会員の中には、こういう質問をされて回答に窮する人もいるようです。そこで今回は、この問題について考えてみたいと思います。

そもそもNB（連鎖販売取引）と、ねずみ講（無限連鎖講）は全くの別物です。NBは商品を普及するための一つの事業方法であり、普及には主に“口コミ”を用いています。

一方、ねずみ講は、お金自体を流通させるのが目的の、いわば「金銭配当組織」です。ねずみ講に参加することは違法ですが、NBをおこなうことは違法行為でもなんでもありません。

### 消費者庁の定義とは？

NBとねずみ講との相違について、消費者庁が編者となって刊行した『平成28年版 特定商取引法に関する法律の解説』（商事法務発行）に、より詳しい解説が初めて掲載されました。

少し長いのですが、大切なことなのでポイント部分を引用してみます。

まずねずみ講（無限連鎖講）について、

消費者庁はこう定義しています。

「組織参加者間の『金品配当組織』であり、組織参加者の収入は後順位者の支出によってのみ賄われ、組織外からの収入がないため終局において必然的に破綻する性格のものである」

これに対して連鎖販売業（NB）は、次のように定義をしています。

つまり、ねずみ講は破綻必至の仕組み

だが、NBは、きちんと取り組めば立派な経済活動であり、事業（ビジネス）だと言っているわけです。

### ねずみ講は金品配当だけ

ただし、この後、次のように念を押しています。

「もっとも、連鎖販売業であるとして物品・権利の販売や役務の提供を標榜している組織であっても、経済活動の実態がなく、単なる金品配当組織として無限連鎖講に該当し得る場合もあり得ることから、両者の区別については、実態に即した判断が必要となる」

ここでは、形だけNBのように見せかけたねずみ講もあるので要注意、ということを言っているわけですね。

いずれにせよ、消費者庁が「NBとねずみ講は別ものだ」と自ら発信しているのは画期的です。皆さんには、自分たちのビジネスにさらに自信を持ち、正しい取り組みを進めていただきたいと思います。



### 消費者庁も認めたこの違い！

「物品の販売等の『事業』であり、組織外への販売等の事業活動による利益が十分に得られるようなものであれば、必ずしも破綻するとは限らない」

さらに「無限連鎖講は、物品・権利の販売や役務の提供という経済活動が伴わない点及び破綻が必然的である点において、連鎖販売業と区別される」と続けて

# 福寿社会を切り拓く—— 丹羽式【融合医療】の A to Z



丹羽正幸  
(丹羽クリニック院長)

## 人の自然治癒力を高める融合医療(上)

2017年5月号から始まりましたこの連載も、いよいよ次の12月号が最終回となります。そこで今回と次回を費やし、連載のまとめとして「融合医療」がめざす自然治癒力の回復・向上についてご報告したいと思います。

人は誰しも昔から、「健康で元気で有意義な生き方をしたい」と願ってきました。しかしいま、わたしたちは過去になかった「病気」と戦うことになってしまいました。現代社会のもたらす強いストレス、悪化する環境、農業と食糧の劣化、そして医学と医療が引き起こす諸問題。これらによって、いまを生きる現代人のわたしたちは自然治癒力を低下させてしまっているのです。以下では、その諸要因をもう少し掘り下げてみましょう。

古来、人は頭脳・感性・身体のすべてを使って生きてきました。そしてより良く安全に生きるために、頭脳と感性をフルに駆使して技術を発達させ、豊かな生活の実現にまい進してきました。しかし、高度な情報技術社会になると、人は脳と感性ばかりを使ってしまい、身体を健全に働かせて生きようとする、本来のあり方をないがしろにしてしまったのです。これが強ス

トレス社会を生んで、心身にダメージを与えるうつ病や不眠症等の増加を招いてしまいました。

環境面ではどうか。科学技術の発達によって、石油等を使った合成化学物質の製品や医薬品が生み出され、人類は豊かな生活を享受してきました。しかしその反面、数々の便利な「人工物」が、環境を破壊し人体に悪影響をもたらしているのです。大気・土壤汚染、水質汚濁、地球温暖化による異常気象など。まさにいま、わたしたちは危機的状況にあります。

### ■自然治癒力低下の理由

次は農業・食糧問題です。いま露地かハウスかを問わず、栽培される野菜に含まれるビタミン、ミネラルなどがかなり減っています。農地に農薬・化学肥料を大量に撒いて微生物や栄養成分が足りなくなったりためでしょう。一方、市場にあふれる加工食品には、さまざまな種類の防腐剤や添加物が含まれています。農業は人の健康に良い栽培法に転換しなければなりませんし、食品市場にはもっと多くの天然の食物を供給すべきです。

また、各種の健康食品やサプリメントは

(化粧品なども含め)、広告宣伝による優良イメージが先行して、本当に身体に良いものかどうか、臨床的証明が不十分なケースが目につきます。

わたしは長年、アトピー性皮膚炎や難治性疾患の治療に当たってきました。その経験から、人がいかに防腐剤や人工添加物などの影響を受けているかを実感しています。90年代半ば以降、大きな問題となった「環境ホルモン」(微量で生体に有害な作用を及ぼす人工の“内分泌搅乱物質”)も加えるべきでしょうが、こうした「人工物」の影響から、人が本来有していた自然治癒力が低下してきているのです。その結果、従来みられなかった(もしくはごくまれだった)疾患、症状も生み出されています。

こうした事態に、医療・医学はどう対応しているのでしょうか。現在、医療現場では専門性が重視され、治療の細分化が極端に進んでいます。その結果、治療の本質が見失われつつあるのです。本来、骨格、筋肉、臓器、そして心理に至るまでの心身全体を様々な角度から診ることが重要です。つまり、身体を総合的、融合的にとらえる診察が必要なのです。次号ではこの点を取り上げてみます。

丹羽正幸(にわ まさゆき)

埼玉県熊谷市出身。 1973年、横浜市立大学医学部卒業。  
76年、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校外科研究室研究員。  
78年、横浜市大付属病院第二外科勤務。  
81年、城西歯科大学(現・明海大学)外科学講座講師を経て、88年、丹羽クリニックを開業、現在に至る。  
国際融合医療協会設立発起人・現理事、日本健康科学学会理事、日本東洋医学会会員。  
『アトピー全快 汗を出すのが正しい』(青春出版社)、『アトピーは、こうして治す』(長崎出版)など著書多数。

# 浄水カートリッジ SALE

2018年  
12/30日  
まで開催

TELでの注文は **0120-84-4132**  
FAXでの注文は **0120-84-1326**



## 2018.9月度 新6A到達

6A

- ANDREW GORDON (オーストラリア)
- EXPANSION LIFE LIMITED (オーストラリア)
- COLLIN S MASU (オーストラリア)
- ALUSHA JANE MARIE BYRNE (オーストラリア)
- MYSOMA PTY LTD AS TRUSTEES (オーストラリア)
- DEBRA A BOZICEVIC-MEWES (オーストラリア)
- COMWAY KANGENLIFE LTD (オーストラリア)
- BEAU LAWRENCE (オーストラリア)
- ANNA FELDMAN (オーストラリア)
- LIQING LOU (カナダ)
- LI WANG (カナダ)
- CHIARA YEE (カナダ)
- CASSANDRA R TAZELAAR (カナダ)
- RON J OLIVER (カナダ)
- DAJIRO SAKITA (スペイン)
- COLIN GALLIGAN (アイルランド)
- NICOLETTA GOZZI (イタリア)
- SC SEND 92 TERAPI ALTERNATIVE (ルーマニア)
- NAGY OANA INTREPRENDERE INDIVIDUALA (ルーマニア)
- SOUVANDY ISABELLE (フランス)
- TANYA ZHELEVA (イギリス)
- MAK HOI YI (香港)
- LI WEN SHI (香港)
- TRAN NGUYEN NGOC THIEN HUONG (香港)
- MU SI GUI (香港)
- DENG QUN XIAN (香港)
- HUANG QUAN GUO (香港)
- QU LI XIA (香港)
- TANG PO WA (香港)
- FUNG YIN HA (香港)
- AU PUI CHI SAUNDERS (香港)
- MAK CHUNG YAN (香港)
- TSOI YIN FAN (香港)
- CLARI TRADING&AGENCY LTD/LAI HONG YEE (香港)
- BHUSHAN BHARAO PATIL (インド)
- NAINA SUDESH KALIA (インド)
- G FRANCIS XAVIER (インド)
- RAM NAYAN SINGH (インド)
- DEVENDRA KUMAR RUHEDA (インド)
- SRINIVAS PASALA (インド)
- JATAWATH NAGESHWAR RAO (インド)
- YUGAL KISHORE PRADHAN (インド)
- SANTOSH KUMAR MAHANTY (インド)
- MAHESH HADA (インド)
- ANAND DHINGRA (インド)
- HMUHTAUFUK DARMANSYAH (インドネシア)
- SRI MARDARIANI SH (インドネシア)
- AYU MEIRAWATI I GST AGUNG DR. (インドネシア)
- 麻生 けい子 (日本)
- PEDRO YUTA (日本)
- CABUYADAO CRESCENCIA KANEISHIRO (日本)
- ABDUL HAFFIZ BIN HUSSIN (マレーシア)
- CHLOE YINN KER LI (マレーシア)
- GEORGE WONG KEE CHIEW (マレーシア)
- HO KIAN CHAU (マレーシア)
- ARELI BERENICE ALARCON SALDANA (メキシコ)

## 6A以上のご紹介

- |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| • MARY ROSE MONATO (フィリピン)         | • DEREK M FELICIANO (アメリカ)         |
| • MARGIE AGUILAR (フィリピン)           | • MARVIC PALTING (アメリカ)            |
| • EVELIA BATAS (フィリピン)             | • PHONG LE (アメリカ)                  |
| • WORLDWIDE WATER PTE LTD (シンガポール) | • TIMOTHY MCGAFFIN II (アメリカ)       |
| • BRIAN L GIBBONS (アメリカ)           | • DENISE BRANDOLINO #2 (アメリカ)      |
| • SESPLUGUES GROUP LLC (アメリカ)      | • PARKS PROGRESS LLC (アメリカ)        |
| • DUYEN CAM TRINH (アメリカ)           | • FILLING UP EMPTY CUPS LLC (アメリカ) |
| • VI THUY THI NGUYEN (アメリカ)        | • JOSHUA M. ANDERSON (アメリカ)        |

## 6A2

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| • TAMARA JANE HUME (オーストラリア)                       | • WU YAN PING (香港)                |
| • SERENA LARCOMBE (オーストラリア)                        | • CHAN CHUN KAM (香港)              |
| • JILL BRIDGEN (カナダ)                               | • SHASHIDHAR GOKUL (インド)          |
| • KANGEN AU COEUR DE PARIS (フランス)                  | • KONDAMU Lalitha (インド)           |
| • LAO HIN IEONG (香港)                               | • VVILAJA CHANDRA BOSE (インド)      |
| • KANGEN VIETNAM TRADING BUSINESS JOINT STOCK (香港) | • WAYAN ADI WITJAKSANA (インドネシア)   |
| • ZHAO LI QIN (香港)                                 | • RAHZURAYYAN GLOBAL (マレーシア)      |
| • GREAT POWER TRADING CO/HO KING TO SAM (香港)       | • BIEN AHORA S DE RL DE CV (メキシコ) |

## 6A2-2

- |                                |                                       |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| • VALLETTE DIDIER (スペイン)       | • CV. SAI KANGEN MIRACLE #01 (インドネシア) |
| • CHENG FAN (香港)               | • KANGEN WATER FOR YOU LLC (アメリカ)     |
| • SOMANCHI SESHA RATHNAM (インド) |                                       |

## 6A2-3

- |  |
|--|
| • WELL STATE DEVELOPMENT LTD./CHENG SHUK FONG (香港) |
|--|

Global E-Friends. 2018.11 (Vol.216) ¥ 100

発行：(株)エナジックインターナショナル広報室 (Tel.)03-5205-6030 (FAX)03-5205-6035 <http://www.enagic.co.jp>

## エナジック イベントニュース

### ウコン生産者大会を盛大に開催！

10月19日、名護市瀬嵩のE8PAホールで、エナジックグループの沖縄還元フーズ(株)が主催し「平成30年度 ウコン生産者大会」が開催されました。還元ウコンのメーカーである沖縄還元フーズ(工場)が設立されたのは2003年のこと。以来、生産者の契約農家は地元山原産の良質ウコンを絶えることなく工場に供給し続けてきました。現在ではその数250軒にも達しています。

あいさつに立った田畠一茂社長は、ウコン生産者に感謝の念を述べるとともに、今後も生産者にいっそ還元できるよう努力する旨を表明しました。また、別の社員からは契約農家へより良い製品を作るための様々な協力依頼もおこなわれました。名護市役所の来賓からは、県外出張で参加できなかった渡具知武豊市長のあいさつ文が代理で読みあげられました。さらに生産者数人からのあいさつや工場の職員全員の紹介などがおこなわれた後、懇親会に移り、和気あいあいの雰囲気の中で大会は進行しました。

